



# 1がつ

## みやびの杜だより

令和3年1月4日 社会福祉法人雅福社会 みやびの杜保育園

### 2021ねん あけましておめでとうございます

コロナウイルス感染症予防のため例年とは違う年末年始を迎えたご家庭も多かったと思いますが家族で過ごす時間が長く、楽しい休日になったのではないのでしょうか。

今月の沖縄地方は1年で一番寒い時期。お正月のご馳走食べて力がついたことでしょう。元気に過ごしていきたいですね。今年も、保護者の皆様、子ども達共に健康で笑顔いっぱい過ごせることと思ひます。

新しい年を迎え、子ども達がこの一年新たな体験や経験を重ねる中でどのような成長を見せてくれるかとても楽しみです。今年も子ども達の笑顔がたえない教育・保育を心がけてまいります。保護者の皆様のお手伝いができますよう職員一同頑張っていきます。今年もよろしくお願ひいたします。



#### お知らせ・お願ひ

1月16日(土)はマラソン大会(2歳児いるかぐみ~5歳児くらぐみ)を予定しています。場所は安謝東原公園になります。毎朝マラソンに取り組んでいる子ども達、体力走力ともついてきました。子どもたちの頑張りにご声援下さい。

☆2月20日(土)は生活発表会を予定しています。

☆より良い保育の為に、園に対するご意見・御要望がありましたらお寄せください。尚、12月は園に対するご意見はありませんでした。

☆新型コロナウイルス等の影響により園の行事を変更することもございます。その都度お知らせします。ご了承ください。

☆第3土曜日の午後を職員研修や教材準備、書類作成の時間にあてさせて頂きありがとうございます。お仕事等都合の悪い時には通常通りお預かりさせていただきますので、その際はお声掛けください。

◎雅福社会 法人理念

- 一、生命の尊厳と人間愛を基本に子どもに奉仕
- 一、子どもの最善の利益と質の高い教育保育の提供
- 一、地域との連携を図り社会貢献
- 一、職員の幸福を目指す法人運営

◎教育・保育理念

- 愛の空間で心身共に豊かにみやびやかに育つ
- ◎教育・保育目標
- 積極的に遊べる子
- 人の話が聞ける子
- 自分の気持ちを伝えられる子

12月の第3土曜日は園の大掃除を行いました。例年、保護者の皆様のお力を借りていますが今回は密を避けるため職員のみで行いました。保護者の皆様には家庭保育という形でご協力頂きありがとうございます。

園舎、倉庫、天窓や玩具も綺麗になり気持ちよく新年を迎えられそうです。



今年(2021年)は丑年

「うし」は昔から労働や食事を支援する動物として人間の生活に欠かせないため古くから大切にされてきました。黙々と働く牛の様子は学問の神様(菅原道真)の教えに通ずるものがあり牛を神の使いとして祀っているそうです。仏教が生まれたインドでも牛は神様として大切にされているようなので「神に近い」とされる牛が干支という事ならば2021年の丑年は縁起の良い年になることを期待しますね。

1月1日の朝…初日の出

新年最初の太陽をおがみ、一年の幸福を祈るという意味があります。

1月7日…七草がゆ

7日の朝に春の七草を入れたおかゆを食べると一年中病気にならないと言われています。

1月11日…鏡開き

お正月の間、備えてあった餅をたたいてわり、お雑煮やお汁粉にして頂きます。「わる」という言葉は縁起が悪いので「運を開く」にかけて「鏡びらき」と言います。

ムーチー 鬼餅

旧暦の12月8日がムーチーにあたり2021年は1月20日がムーチーになります。この日はムーチーを仏壇にお供えし、家族で食べて健康を祈願したり厄払いをしたりします。

## 研修報告

### オンライン研修「感染症」

日常の衛生管理と感染症拡大防止策については日頃から掃除や衛生管理が重要。掃除と消毒は違う。消毒をする際はきちんと掃除をした後で行う。感染拡大防止策については、園児一人ひとりの体調の変化に気づき適切に対応することが周囲への感染拡大防止、病気の重症化や合併症を防ぐことに繋がる。感染経路は飛沫感染、接触感染などいくつかあるが感染症の症状がみられる子には登園を控えてもらい感染拡大防止に努める。流行を最小限に抑えるためには日常的に全員が席エチケットを実施することが大切。職員の体調管理も気を配る。マスクは2歳未満の子は息苦しさや体調不良を訴えること、自分で外すのが困難なため着用は推奨されていない。2歳以上でもマスクの着用時に息苦しさを感じていないか十分に注意する。接触感染対策としては手洗いの徹底が最も重要。泡石鹸や液体石鹸で対応し、タオルの共有はしないこと。接触感染対策については手指消毒に次亜塩素酸ナトリウムは適さない。(※次亜塩素酸ナトリウムは嘔吐物や糞便処理、物品場所消毒に適している)園児が嘔吐した際、衣服は洗わずに二重のビニール袋に入れて返却すること、洗う際に衣服に着いた嘔吐物が飛んで感染することもあるので感染防止として大切。コロナ禍でマスクの着用や手指消毒が当たり前に行われるようになってきている。コロナウイルスに限らず日常の衛生管理をしっかり行うことで感染拡大防止対策につながることを改めて思い知った研修でした。日常的に行っている園での掃除、消毒、オムツ交換や玩具の消毒、消毒液の使用法、職員の休憩時間、環境等見直す点もあった。「手洗い」は最大の感染予防策である。正しい手洗い方法を身に衣着徹底していく事が重要である。職員の共通理解のもと「日常の衛生管理」をしっかりとい行い感染防止に努めていきたいと思ひます。

### 「小学校との接続」～幼児教育から小学校教育へ円滑につなぐために～

今回は幼少接続の必要性や具体的な取り組みについて話を聞くことができました。3つの柱に沿った幼児教育において育みたい資質・能力では遊びを通して総合的な指導＝環境を通して行う環境が定説であり、基礎となるものを身に付け先生の話に興味を持ち十分に聞き取る力をつけることが大切。幼児教育から小学校教育への流れとして学びの芽生え(楽しいことや好きな事に集中・対象と直接かかわる・称号的に学ぶ・言葉や非言語コミュニケーションにより他者と関わり合う)から自覚的な学びへと行きつ戻りつの流れとするものであり、小学校の真似ごとにならないようにし、「感覚を教える場がいい”

とのことでした。つまり、幼児教育の目的は「人格形成の基礎を培うこと」であり、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を照らし合わせながら方向性をむけていく事が大切である。年長クラスをもって2年目として小学校へつなげていく過程としてスタートカリキュラムや幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を照らし合わせながら、子ども達が安心して小学校へ通えるように送り出す責任をもって取り組む必要があると改めて感じました。また、小学校の真似頃にならないよう、環境を通して遊びの中で総合的な指導を展開できるように意識していきたいと思ひました。

## 職員研修

- 1月9日 キャリアアップ研修(障害児)
- 22・29日 事故予防①②
- 30日 子育て支援研修



## 食育

・「しょくいく」は食をすること作ることなど食を営む力の基礎。家庭や地域、学校でも色々な食育があると思ひます。みやびの杜保育園でも各年齢に沿って食育がされています。0.1.2歳児は食することに意欲を持つ、食材に興味を持つことから始まり3.4.5歳児になると食することの楽しさを知り、全ての命の大切さを知る等。行事や季節に合った食事のメニューも食育の一環ですね。

食をほかに菜園や園の畑やプランターで野菜を育てています。

畑の土作り、野菜につく虫よけも必要な事だと子ども達、保育士も日々学びです。

また、5歳児さんは給食の野菜の皮むきやお米炊きも毎日取り組んでいて頼もしい姿を見せてくれます。配膳、片付けまで進んで取り組んでいますよ

「鮭」は調理する前はさけ。調理した後はしゃけ。「うし」は動物そのものをさし製品や食べ物となるとぎゅう。調理する前と後では違いがあるようです。

食育は大人のためでもありますね。子ども達に伝えていくために保育士、保護者の方も学びが大切になりますね。食をすることは生きること。楽しく「食」に触れたいですね。